

2010年度（平成22年度）事業報告書

2010年（平成22年）11月1日から2011年（平成23年）10月31日まで

特定非営利活動法人トラ・ゾウ保護基金

1 事業実施の方針

健全な野生の世界の象徴であるトラ、ゾウなどの野生生物の生息地において、実効的な保全対策を立案・実行する能力がある現地NGO等に対して支援を行ないました。

また、これを補完する事業として、野生生物製品の需要を減少させるための法規制強化の提言、需要減少のための政策提言、普及啓発を行ないました。

チャリティー・イベントを実施し、活動への賛同者から寄付を集め、保全活動実施等の資金としました。

保全活動の計画、実施状況および成果について、生物学、法律などの専門家を交えて評価検討し、ホームページ等に公表しました。

活動成果を、会報（年次報告書、通信）、ホームページ、メールマガジン等を通じて、会員・寄付者に報告、一般に普及しました。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
生息地における野生生物保全活動に対する支援事業	保護地域の指定・管理に必要な調査、保護地域管理としてのパトロール等の支援、地域住民の普及啓発等	通年	インド（マハラシュトラ州、アソム州、タミルナドゥ州） ケニア（ツァボ国立公園等） 日本（西表島）	5人	生息地で活動する森林局、国立公園のレンジャー等 300人 西表島在住者 2000人	6,711 積立 100 6,811
野生生物に対する脅威の生息地外における除去事業	野生生物製品の消費見直しなど生物多様性保全の普及啓発（会場イベント、情報発信）	通年	首都圏8回 東海1回、 京阪神2回 （会場イベント）、 ホームページ掲載等	40人	会場イベント参加者延べ1000名、 ホームページ閲覧等不特定多数	3,183
チャリティー・イベントの実施事業	生息地における保全活動等に対する寄付を確保・維持するための会場イベント	年6回 （会場イベント）	首都圏6回 （会場イベント）	25人	会場イベント参加者延べ200名	1,008
野生生物保全に関する調査研究事業	野生生物保全のあり方を検討する座談会の開催、報告書の作成 関係機関に対する意見書提出、意見陳述、	年1回 （座談会） 年3通 （報告書） 年8通 （意見書・要望書）	事務局（座談会） ホームページ掲載等（報告書） 関係機関（意見書・要望書）	5人	ホームページ閲覧 不特定多数	11
会報発行事業	年次報告書・通信の発行、ホームページの運営	年8通 （通信等） 通年（ホームページ）	全国	40人	発行4,000部 （通信等8通） 不特定多数 （ホームページ）	863